

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型である点から法人全体で理念を見直し、事業所の理念を掲げている。	理念に添ったケアを今後も心掛けて行く。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念に基づき、各ユニットは、目標を立て、それに添って実践、ケアを提供している。	毎年、そのように取り組んでいる。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議の場や、自治会の会議の場を活用し、ご理解とご協力がいただけるよう施設の方針をお伝えしている。	今後も継続して行く。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣のボランティアに来て頂いたり、公園の掃除のお知らせを頂いたりしている。	自治会の会合や、包括主催の講習会など、たんぼぼの談話室を気軽に利用して頂いている。いただくなど、施設サイドからの働きかけを今後も行って行く。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、行事等のお誘いや、クリーンデイへのお知らせも頂いている。ご自宅で不要になった衣類や物品などを頂戴するようになった。	今後も継続して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	在宅で生活しているが、近い将来を見越して...とのご近所の方の見学もできている。		地域にて、認知症の高齢者を抱えて困っている方々に、当施設には、3名の認知症サポーターがいるが、力になれるよう取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ご来訪者さまも閲覧できるよう玄関に置いている。		ご来訪者さまも閲覧できるよう玄関に置き、いつでも見て頂けるようにしている。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の意見や要望は、サービスの向上、ケアの質の向上に向けて活かすようにしている。		今後も継続して行く。
9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターの職員さまに、高齢者虐待について研修の講師を引き受けて下さり、リフレッシュ教室についてもご教示いただいている。		包括支援センターさまのご指導やご教示を頂きながら、ケアの質の向上に取り組みたい。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加した職員以外は、資料の回覧やミニカンファレンスにて話しているが、活用できるよう支援はできていない。		勉強会などを実施していきたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回、フロアミーティングや、折にふれて虐待について、マニュアルを作成し、管理者を含め、学習し、話し合っている。		包括支援センターさまの職員の方に講師を依頼し、勉強会を開催予定。多くの職員に参加していただき、知識を持って、ケアにあたるようにしたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時、質問や疑問等は、納得頂けるよう説明している。</p>	<p>ご家族が疑問、不安、を持つことが、無い様、十分説明を行い、ご理解頂けるように配慮したい。また、質問しやすい雰囲気づくりにつとめたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に参加していただいて際、意見をいただいている。玄関、入り口に「CSボード」を設置している。口頭でいただいたものは書面にて残すようにしている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回、お便りを出している。その際、異動等を報告している。(面会時にも)お便りは、月によって(全員は)個人むけになっていない時もある。特変時、電話連絡している。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご来訪時に、日ごろの様子をお伝えする際、お話を伺うようにしている。苦情やご相談を受けた場合は、相談記録を残し、法人全体で話し合い、対応させていただいている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>時間のゆるす限り現場に出向き、現場の様子や意見を聞いている。月1回、フロアミーティングにて意見や提案を受け、取り入れている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ケアプランの日、ORの日を導入している。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	実際管理者の異動はあるが、混乱を最小限にし、前任者も法人内でいつでも協力できる体制をとっている。利用者とのなじみの関係を大切に保てるようにしている。		今後も、馴染みの関係づくりに努めたい。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修、勉強会の教育計画を立案中である。介護技術チェックリストを導入している。		教育計画お基に、実践していきたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管内ケアマネ連絡会への参加、同業者であるグループホームケアマネ連絡会にもお誘いを受け交流をもっている。		今後も情報交換を行える機会は有効に活用し、ケアの質の向上に努めたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	シフト作成時に工夫している。職員に常に声かけし、悩み、思いを聞くようにしている。年数回の慰労会をストレス発散の場としている。		今後も継続して行きたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の平均年齢から考え、なかなか勉強に時間を割きキャリアアップを目指す気力は薄いと思える。しかし、ケアの質を上げたいという思いは強いので、組織全体で応えるよう努めている。		ケアの質を上げたいという思いは強いので、法人全体で応えるよう努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談や不安なこと、話しかけて下さる利用者は決まっているが、気にかかる利用者には廊下やリビング、居室に訪室し、話を聞くようにしている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談の時点より、ご家族の思い、不安を受け止め、より良き関係を築けるよう努めている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>不安な思いを抱えての入居の問い合わせが何例かある。じっくり話を伺い、困っている事、不安、要望が何なのか、見極め対応している。</p>	<p>他の介護サービスについての知識も深め、必要に応じて柔軟に対応できるよう知識を深めたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学や面談の際、利用者さまと一緒にお茶にお誘いし、場の雰囲気に馴染んで頂き、気の合いそうな利用者と同テーブルにて親しく会話できるよう配慮はしている。</p>	<p>不安や心細い思いをすることが無い様に声をかけ、訴えに耳を傾け、スタッフや気の合いそうな利用者様と馴染めるよう今後も取り組んでいきたい。</p>
、			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>掃除、洗濯干し、料理の下ごしらえ、縫い物、時には教えて頂き、共にし、利用者様が出番を持ち楽しく過ごせるよう、スタッフは工夫している。</p>	<p>今後も生活の場を楽しく、イキイキと共に歩んで行けるよう努めたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時、利用者様の状況を報告、医療的な面は、上司や主治医に助言を頂き、ご家族にお伝えし、共に考えているが、ご家族全員と喜怒哀楽はできていないのが現状である。</p>		<p>ご家族へのアプローチが（連絡がスムーズに取れない難しいケースもある）が出来ていないが、個人のお便りをお送りすることで連絡を取っていきたい。</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>入居に際して情報を得たり、面会時に話を伺い支援支援できるよう心掛けている。面会の長い間ないご家族もいらっしゃるのので、面会を促している。役所の担当者の協力も得ている。</p>		<p>今後も継続して行きたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>手紙のやりとり、電話、面会等あり支援している。法事や墓参りにも出かけていただいている。高齢や認知の進行もあり、困難になってきているが、家族の協力を得、途切れないようにしたい。</p>		<p>ご家族の協力も得、馴染みの関係が途切れないよう、支援していきたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>一人だけ孤立することが無い様、スタッフが間に入り、気の合いそうな人と自然と仲良くできるよう、生活の場を居心地の良い空間となるよう心掛けている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>転居後も、気の合った利用者と面会に伺い喜んでいただいた。退居後（死亡）のご家族が、訪問して下さったり、会議にも出席して下さっている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>判断が困難な利用者さまは、表情や行動から、思い意向の把握に努めているが、ご家族本位になってしまっている。</p>	<p>ご家族の協力を得ながら、可能な限り、本人本位であるよう努めていく。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前に情報提供を求め、情報を基にスタッフ間で共有、ケアに生かしている。また、馴染みの暮らし方を知るためにも自宅にて面談を行うこともある。</p>	<p>今後も継続して行きたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>以前行っていた、できること、できないことを、再度、利用者の有する力を知るためにも、スタッフが担当を決め記入、ケアプランに活かすようにしている。</p>	<p>センター方式をケアプランに活かせる様に取り組みたい。</p>
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月1回、フロアミーティングや、ミニカンファレンスにて、各利用者の現状を話し合い、介護計画に取り入れている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>家族の面会時に、家族とスタッフで話し合い互い協力してよりよい介護を目指して計画を立てていく。見直しが滞りがちであったが、計画作成担当者がフリー出勤の日を活用して、アセスメントに時間を割いていきたい。</p>	<p>現状に即したアセスメントを定期的に行っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録には、日々の様子を記入、連絡帳やカードックスを用いて情報共有ケアに活かしている。		今後も継続して行く。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の暮らしを継続的に支援できるようにシフト等を工夫している。		多機能性を活かした柔軟な支援を考えていきたい。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	犬との散歩、園芸クラブの活動、音楽等、ボランティアの力を借りて実施、ご近所のボランティアによる喫茶へ参加、小学生や高校生の訪問を受け入れている。		今後も地域の方々の協力を得ながら、共存して行きたい。
41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネ連絡会に参加、情報を得、協力を頂いている。地区のグループホームとの交流に参加、意見を参考にしている。		今後も継続して行きたい。
42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にご参加頂き、助言や協力を得ている。権利擁護について勉強会の講師を依頼している。		今後ご協力いただけるように、お願いしていく。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診医との関係が確立されており、適切な医療を受けていただけている。何かあれば、往診医からかかりつけ医へ情報提供がなされ、受診を勧めていただき、対応できている。</p>		<p>24時間迅速な対応をしていただけており、適切な医療を受けていただけるよう支援できている。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>心療内科への通院を支援している。また、往診医に相談、専門医へ紹介嬢尾状を書いて頂き受診している。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>前所長（統括）が当施設の24時間対応して下さる看護師でもあるので、特変時や健康面、いつでも連絡がとれ、相談や支持を受けている。</p>		<p>今後も日常の健康管理を、相談しながら支援して行く。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院が決定したら介護サマリーを送り、状態が安定したら退院できるようソーシャルワーカーと話を。退院が決まれば往診医の協力を得ることができるようにしている。</p>		<p>今後も連携を取って対応して行きたい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご家族の意向を確認しつつ、往診医の指導の下、訪問看護を受けつつ、マニュアルに添って看取ることができた。ご家族も喜ばれ、スタッフも最後までより添うことができ、良かったと報告している。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>マニュアルを作成し、エンジェルセット等も準備している。</p>		<p>専門職から介護職へ向けての、医療的ケアに関する指導を経験や資格に応じて行っていく必要がある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ご家族の希望にて ちゃんとお呼びしている方もいるが、基本的には さんとお呼びしている。個人記録は、個別に保管しており、個人情報 は守られている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>分かりやすい言葉かけや表情、筆談なので思いをくみ取り、説明を行っている。通常と異なる表情の際は、声かけし、話を伺うようにしている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務に追われ十分に出来ていないが、出来る方は、率先して手伝いを申し出て下さっている。少しの時間を利用して、その方の出番、笑顔が出るようスタッフは心掛けてケアに当たっている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>馴染みの美容室にご家族と行かれる方もいるが、訪問美容を利用している。外出や更衣時、ご自分で選べる方は、その際、スタッフはアドバイスさせて頂き、困難な方は、共に好みそうな色合いの洋服を選んでいく。</p>	<p>誕生日等には、おしゃれをして、みんなに祝って頂く等、。その人スポットを当てるようにしていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お好み焼きや餃子など上手な利用者さんが数名いるので一緒に作っている。レベルに応じて、もやしひげ取りや味見、リビングに座っている方にもスタッフは声かけし楽しんで待っていただいている。</p>	<p>今後も継続して行く。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>入居前より喫煙されていた方は、食後楽しんで頂いている。日常的に出来てはいないが、散歩の後、スーパーにて好みの菓子購入、スタッフが依頼され購入することもある。</p>	<p>夏祭りやバイキング等、イベントにて菓子や食べ物、飲み物、フルーツを用意、好みの物を選んで楽しんでいただいているが、今後も継続して行く。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄チェック表を活用し、時間を見計らって誘導している。おむつは、安易に使用しないようにしている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>見守りだけで入浴可能な方は、可能なかぎりご希望に応じている。勤務体制の都合上、スタッフが2人以上の時間帯に入浴していただくことになり、希望通りには応じられていない。</p>	<p>入浴を楽しんでいただけるようソフト、ハード面を今後も見直して行きたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の習慣や早寝早起の習慣のある方は、習慣どおり生活していただけるよう支援している。定期的に天気の良い日は、共に布団干しやシーツ交換して気持ちよく休めるようにしている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>川柳が得意な方は、新聞やNHKに投稿して楽しんでいる。洗濯干しは、出来る方がペアを組んで日課として下さっている。メニュー書きや、往診医先生へのお茶出しなどもして下さっている。</p>	<p>役割や張りのある生活が送れるよう今後も支援して行く。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてお預かりしているが、ご自身で千円程度持っていらっしゃる方もあり、希望に応じた対応を心がけている。		今後ご家族の理解をいただいたうえで、ご希望に応じた支援の方法を検討していく。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日など可能な限り散歩や買い物等、外出の機会を設けているが、人員の関係にて柔軟に対応できていない。足腰が弱っている方は、庭で草花を摘んだり、外の空気にふれたりしていただいている。		ご家族や、地域のボランティアの協力を得ながら支援していきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご希望は、ご家族の協力を得ながら、叶えるように努めている。		今後も継続していく。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ハガキや手紙だけでなく、公衆電話も利用していただいている。年賀状も毎年、ご家族宛に出し、スタッフと共に趣向をこらしている。		今後も継続していく。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時、自室や談話室、公民館を開放してゆったり過ごせるよう支援している。ご家族が泊まっていただくこともある。		今後もマニュアルの周知徹底と定期的に勉強会等を行い、身体拘束は行わない。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新しいスタッフもあり全員理解は出来ていない。マニュアルを活用するとともに、勉強会を予定している。		今後もマニュアルの周知徹底と定期的に勉強会等を行い、身体拘束は行わない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>今後、鍵をかけないケアに向けて取り組んで行きたい。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		<p>今後も継続していく。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>今後も、ひやりはっとや事故報告書のデータを活用し、リスクマネジメントに努める。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		<p>今後も事故の軽減に向けて取り組んでいく。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<p>今後も定期的に緊急時の対処法などを指導し、講習受講も主催し、緊急事態に遭遇しても、落ち着いて対応できるようにしたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>今後も継続していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>急変の可能性や転倒の可能性がある場合は、スタッフ間で対策を話し合い、ご家族とも相談させていただく。上司である看護師や往診医に相談、指示を仰いでいる。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝、血圧、検温、脈拍を計り、体調チェック、発熱や体調不良時、上司の看護師に連絡、往診医にも連絡、指示を仰ぎ対応している。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬剤情報の用紙を頂き、各フロアに置いて閲覧できるようにしている。また、協力関係にある薬剤師に質問も可能な状況である。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食材には、便秘解消の繊維質の多ものを取り入れている。飲み物をこまめに飲んでいただいたり、建物を歩いて運動していただいている。</p>	<p>薬に頼らないその人にあった改善策を見つけ、支援していきたい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後、歯磨き、ポリデントを行い、口腔内清掃を実施している。お茶も活用し、個々に応じたケアに努めている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>各々の食事量、飲水量が違うため、各人に合わせた量の盛り付けをしている。水分は、お茶の時間以外にも、こまめに摂れるように飲んでいただいている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人内に感染防止委員会があり、施設にも設立した。マニュアルも作成し、取り決めに沿って予防を行っている。		委員会を中心に、今後も予防に努める。最新の情報にも注意し、最新の方法で予防に努める。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は前日に配達されることになっており、届いたらすぐ冷蔵庫に保存、食器拭き、煮沸、ハイターで消毒。中国製品のトラブル以降、法人全体で気をつけている。		今後も継続していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物が古いので玄関周囲は花を植え、明るく、親しみやすいように心掛けている。庭や畑には、野菜や花を植えている。		今後も工夫していきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下に椅子を置いて寛いで頂いたり、適度の死角をつくり、ほっとできる空間を作っている。散歩の途中、草花を摘み、リビングに飾って四季を感じて頂いてる。		今後も継続していく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	空部屋の活用であるが、昭和家具をイメージした。DVDを上映する日、駄菓子屋が開店する日、利用者同士、お茶を飲んで寛げるよう自由に使っていただいている。		今後もゆったりと寛げるよう工夫していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や、品を持っての入居を勧め、可能な限り入所前の状況に近づけるようにしている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>定期的に空気の入替はしている。暑い日にはくらーを使用しているが、日差しが強い際は、すだれをさげたり、暖房使用時は、湿度を保つため、濡れタオルで対応している。</p>	<p>今後も換気や臭い等、配慮していきたい。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>現状で精一杯やっているが、設備的に不十分な点がある。ハード面には課題が多く、大家さんと交渉していることも多いのが現状である。</p>	<p>ハード面をソフト面でカバーするなどの工夫は行い、併せて大家さんご協力いただけるよう運営者を通じてお願いしていく。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>混乱の原因を追究し、失敗や嫌な思いをすることがないように、スタッフ間にて話し合い、ケアに活かしている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>お天気が良い日は、裏庭に椅子やテーブルを出し、心地よい風に当たり、お茶を楽しむこともある。</p>	<p>今後も継続していく。</p>

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)